
写真

心音

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

写真

【Nコード】

N5082P

【作者名】

心音

【あらすじ】

高校2年生の女の子、花。学校には行っていない。
インターネットを通じて他人とのコミュニケーションを楽しんでいる。

そんな花があるときネットの世界を通じてある人に出会う。
高校生の青春を描いた物語。

夜明け

水平線から太陽がのぼり、今日もまた夜が明ける。海の近くの高台にある一軒の赤い屋根の家の窓から、一人の少女が海を眺めている。

「毎日が同じことの繰り返し。」

そう呟いた少女はカーテンを閉め、ベッドに入ると目をつぶり眠りについた。

夕方五時、目ざまし時計のアラーム音が部屋に鳴り響く。まだ重たい瞼を薄く開け少女はアラームを止める。ベッドから出てあくびを一つ。カーテンを開けると寝る前に見た風景と同じ。今度は夕焼け、太陽が水平線に沈む。

シャワーを浴びて着替えをすませる。まだ乾いてない髪をタオルで拭きながら、冷蔵庫を開けペットボトルに入った水を飲む。水分が身体にしみわたるような感覚。

奥の部屋から声がする。

「ちよつとー、また学校サボったの？」

「うん。」

少女の母親が、あきれ顔で少女に言う。

「頑張つて学校行きなさいよ、いじめられてるの？」

「違うよ、ただ…学校つてつまらないんだよね。みんなくだらないことで笑ったり、可愛くなるわけでもないのに化粧したりさ。みてて恥ずかしくなるよね。」

母親はため息をついて、なにも言わずテレビの方を向いた。少女は、冷蔵庫に入っていたチョコレートと水を持って二階にある自分の部屋へすたすたと戻って行った。

ボタン

部屋のドアを閉めると、クローゼットを開ける。中には新品同然の制服が掛けてあった。制服を手にとると胸ポケットから名札を出す。

「香川花…変な名前、変な名字。そして変な制服。」

胸ポケットへ名札をしまうと、制服をクローゼットへ戻した。机の上にあるパソコンを起動させる。花は、窓を開け外を眺める。むわつとした熱気が花を包みこみ、耳をすませると、波の音が聞こえる。

「今日も暑かったんだろうな…学校はどうだったのかな？またどうせつまらない授業ばかりだよな。」

しばらく外を眺めていると家の近くの公園に、高校生らしき女の子が二、三人集まっているのが見えた。

「あつ…うちの学校の生徒じゃん。こんなとこで何してんだか…。またどうせ恋愛話とか愚痴だろ。」

五分ほどすると少女たちは解散していった。その姿を見届けてから、花は窓を閉め扇風機のスイッチを入れる。パソコンの置いてある机に向かい、椅子に座るとカタカタとパスワードを入れてインタ

ーネットを開く。そして、あるホームページを開く。

「H・K」

そう題されたホームページの管理人は花であり、H・Kは花のイニシャルである。ホームページには花の日記や花が撮った風景の写真が公開されており、一日に五千人数度のアクセスがある。

「さて、今日も日記書きますか。」

七月一日

今日から七月です。私は相変わらず学校には行かないでのもんびり過ごしています。夕方起きて明け方に寝る。同じ高校生とはま逆の日常。決して、学校が嫌いだったり、いじめられてるわけじゃないよ。ただ、学校なんてつまらないし自分のためになるか分からないだけ。同級生に友達は居るけど、みんな恋愛に忙しいみたい。私は…恋愛なんてくだらないことしてません。友達の恋愛をくだらないとは言ってませんよ。自分が恋愛をしていることがくだらないって言ってるだけ…。それよりも、写真撮っている方が自分らしい気がする。今月中に、一回だけ学校行こうと思ってます。どうした！ってびっくりしますか？な〜んか今そんな気分だけ。気分がのているうちに一回行こう。じゃないと一生行かない気がします。では、今日はこの辺で。

一つため息をつく。冷蔵庫から持ってきたチョコレートを口に入れると甘い味とチョコレートの香りが広がった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5082p/>

写真

2010年12月15日06時14分発行